統計の眼

農業・食料に関連する産業

今回の農業白書では、第一部「食料・農業・農村の動向」第Ⅰ章第三節「食料の安定供給を支える食品産業と安全・良質な食料の供給」で、食品産業の規模についてふれている。それによると、農・漁業の生産額は約八兆円であるが、農業・食料関連産業の生産額は約五十六兆円であり、全産業の一割強を占めている（表）。

「食の外部化」などを背景として、フードシステムのなかでは川中や川下にあたる産業の付加価値が川上より大きいということであろう。外食産業などの店づくりではコンセプトやテーストなども重要な要素であり、食品小売業でありながら、サービス業に近い側面もみられる。

わがＪＡ陣営もより大きな付加価値を求めて下流の分野に進出する動きがみられる。地ビールや焼き肉のレストラン、そば打ち体験の店舗の開業などである。農業や漁業にまったく関係のない分野よりも進出しやすいという面もあるかもしれない。最終消費者と直接接する業態でなくとも、カット野菜などの中間食材を提供している例もある。

キャベツの千切りがないとトンカツは食べられないし、刺し身には大根のツマがつきものである。オニオン・スライス用に玉ねぎをスライスするだけでも付加価値が発生する。ジャガイモの皮をむくのも数量がまとまれば、相当の作業量となる。大根をおでん用にカットすれば、市場に出荷できない規格外品も商品化できる可能性がある。

漁村では魚を三枚におろしてトレーにパックし、スーパーの店頭の荷姿に加工している。釣り針が混入すると不良品になるので、一個ずつ金属探知器にかけている。鰻を割いて、串を打ち、蒲焼きの姿に加工する例もある。食品加工機械メーカーは自動串打ち機を製品化している。

食品残さの削減が求められているので、今後は食品スーパーのバックヤードでの食材加工は減少することが予想される。家庭の食卓用に最終工程まで加工しなくても、食材の下拵え程度の簡単な加工でも、事業として検討の対象となる余地はあるのではないだろうか。

（桜井）

農業・食料関連産業の国内総生産額

（単位：兆円，%）

	実数			全産業に占める割合		
	8年度	9	10	8年度	9	10
農・漁業	**7.9**	**7.5**	**7.5**	**1.5**	**1.4**	**1.5**
食料関連産業	**47.9**	**48.4**	**48.2**	**9.3**	**9.3**	**9.4**
うち関連製造業	13.9	13.9	13.9	2.7	2.7	2.7
飲食店	11.1	11.9	11.3	2.2	2.3	2.2
関連流通業	20.9	20.8	20.9	4.1	4.0	4.1
関連投資	2.0	1.8	2.1	0.4	0.4	0.4
農業・食料関連産業合計	**55.8**	**55.9**	**55.8**	**10.8**	**10.8**	**10.9**
（参考）全産業	515.2	520.0	513.2	100.0	100.0	100.0

資料：農林水産省「農業白書」